

地球温暖化防止実行計画

平成26年1月

株式会社西川電機工業所

1. 事業内容

株式会社西川電機工業所は、『電気事業（工事）、空調事業（工事）及びその周辺事業を通じて、明るく豊かな生活を願う人々に貢献する』を経営理念としています。

業務概要 電気及び空調設備工事の設計・施工、計装工事、電気部品修繕
売電業並びに特定労働者派遣業

資本金 1,000 万円

売上高 3 億 6 千万円

従業員数 46 名

2. 計画の目的

当社は、設備設計の段階においては、環境保全への配慮を提案し、施工・保守の段階においては、環境保全や汚染の防止、リサイクルの促進、フロンガスの適正処理に取り組み、持続可能な社会を実現させていくため、本計画を策定いたします。

3. 計画期間

地球温暖化防止実行計画は、いしかわ事業者版環境ISOの行動計画と一体で取り組むため、当社の会計年度に併せて平成25年6月1日から平成28年5月31日までの3か年とします。

4. 計画の範囲

この計画の適用範囲は、いしかわ事業者版環境ISOの行動計画に併せて、本社・松任事業本部全体の発生量として算出します。

5. 温室効果ガス排出量の現況

（1）基準年度（平成24年度）の温室効果ガス排出状況

エネルギー別使用量は以下の通りです。

エネルギー別		使用量	二酸化炭素排出量 (kg・CO ₂)
自動車燃料	ガソリン	24,080L	55,865
	軽油	720L	1,857
燃料	灯油	4,733L	11,785
電力		17,027kWh	10,914

(2) エネルギー別排出割合

平成24年度のエネルギー別二酸化炭素排出量、割合は以下のとおりです。

(単位：kg・CO₂)

エネルギー別		二酸化炭素排出量	割合 (%)
自動車燃料	ガソリン	55,865	69.5
	軽油	1,857	2.3
燃料	灯油	11,785	14.6
電力		10,914	13.6
二酸化炭素排出量		80,421	100.0

(3) 温室効果ガスの排出原因

当社の事業活動における温室効果ガスの排出原因の中で、最も影響の大きいものは自動車燃料によるものであり、当社の総排出量の約72%を占めています。

その要因は次のとおりです。

1) 自動車燃料の使用

・工事用道具及び材料を搭載し、業務の移動手段として必要不可欠です。

6. 温室効果ガス削減の取組み

平成24年度の排出量を基準として、削減目標を設定し、目標達成に向けた重点的施策又は取組みを実施します。

(1) 自動車用燃料の削減

1) 削減目標

自動車燃料使用量を、平成24年度の使用量を基準に、平成27年度までに3%削減します。

二酸化炭素排出量の削減目標 (単位：L、kg-CO₂)

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度
自動車燃料使用量	24,550	24,300	24,050
二酸化炭素排出量	57,140	56,560	55,990
削減目標 (対24年度)	1%	2%	3%

2) 目標達成に向けた重点的施策

“エコドライブの推進”

- ① ふんわりアクセル (やさしい発進)
- ② 加減速の少ない運転

- ③ 早めのアクセルオフ
- ④ タイヤの空気圧をこまめにチェック

(2) 燃料使用量の削減

1) 削減目標

灯油使用量を、平成 24 年度の使用量を基準に、27 年度までに 3%削減します。

2) 目標達成に向けた取組み

- ① 無人となる時間帯は、暖房を消します。
- ② ストープから離れた場所で一定時間作業する場合は、暖房弱とします。

(3) 電力使用量の削減

1) 削減目標

電力使用量を、平成 24 年度の使用量を基準に、27 年度までに 3%削減します。

2) 目標達成に向けた取組み

- ① エアコンによる冷暖房使用時、室内監視温度を厳守します。
- ② 不在箇所、昼の休憩時間の消灯を徹底します。
- ③ パソコン非使用時の電源断や省電力モードの設定に努めます。

7. コピー用紙の購入量、廃棄物の排出量

(1) 平成 24 年度コピー用紙の購入量

サイズ	購入量
A 4	95,000 枚
A 3	5,000 枚
B 5	2,000 枚
B 4	0 枚

(2) 平成 24 年度廃棄物の排出量

廃棄物の種類と排出量

(単位 : kg)

廃棄物の種類	排出量	廃棄物の種類	排出量
段ボール	270	プラスチック	1,750
雑誌等その他紙類	50	埋立てごみ	940
空き缶・空き瓶	60	燃やすごみ	450
ペットボトル	20	合計	3,540

8. コピー用紙使用量削減及び廃棄物の資源化率向上

(1) コピー用紙使用量削減

1) 削減目標

コピー用紙の使用量を、24年度の使用量を基準に、27年度までに3%削減します。

2) 目標達成に向けた取組み

- ① コピー用紙の裏面活用を図ります。
- ② 両面コピーの活用を図ります。
- ③ コピーする際プリンターの設定状態を確認し、ミスプリントを無くします。
- ④ 会議で使用する資料等は必要最小限にします。

(2) 廃棄物の資源化率向上

工事に付帯して、廃棄物が必ず発生します。その数量を抑制することは困難ですが、分別整理方法を改善して資源化率向上を目指します。

1) 改善目標

廃棄物の分別方法を見直し、資源化率10%アップを目指します。

2) 目標達成に向けた取組み

廃棄物の分別整理を改善し、廃棄しているものから資源化できるものを選別します。

9. 計画の推進体制

(1) 組織

当社の定例会議（毎月の幹部会議）で趣旨と削減目標を提示し、各部門長を通して全社員に周知徹底します。

- ① 部内連絡会、回覧書面、掲示板等で周知を図ります。
- ② 7月の定例会議で、前年度の実績を評価して、改善の取組みを行います。